

教科	国語	学年	第3学年
----	----	----	------

単元名	単元のまとまりの評価規準		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ことばに親しもう	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。	進んで日常生活の中から話題を決め、学習の見通しをもって情報を集め、自身のことを紹介し合おうとしている。 進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って工夫して音読しようとしている。
ばめんのつながりに気をつけて読もう	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって考えたことを友達と紹介し合おうとしている。 積極的に伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって「発見ノート」を作ろうとしている。
すじみちを立てて発表しよう	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。 「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	粘り強く話の構成を考え、今までの学習を生かして自分の宝物を紹介しようとしている。
だんらくの要点をつかもう	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。	「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付け、学習課題に沿って要点をまとめようとしている。 粘り強く、目的を意識して、中心となる語や文を見付け、学習課題に沿って要点をまとめようとしている。 進んで易しい文語調の俳句を音読したり暗唱したりするなどし、学習の見通しをもって言葉の響きやリズムに親しもうとしている。
しりょうを集めて活用しよう	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。	積極的に、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約し、学習課題に沿って分かったことを説明しようとしている。 粘り強く文章の構成を考え、学習の見通しをもって説明する文章を書こうとしている。

登場人物のせいかくを考えながら読もう	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	進んで目的や進め方を確認し、学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。
つたえたいことをはっきりさせて書こう	丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 丁寧な言葉を使っているとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。 漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使っているとともに、句読点を適切に打っている。	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	粘り強く、書く内容の中心を明確にして文章の構成を考え、学習の見通しをもって報告文を書こうとしている。 粘り強く相手や目的を意識した表現になっているかを確かめ、学習の見通しをもって目的に合わせた手紙を書こうとしている。 進んで送り仮名の付け方を理解して文や文章の中で使い、学習課題に沿って、漢字を正しく使おうとしている。
場面のうつりかわりに気をつけて読もう	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。	進んで登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、登場人物の言葉を考えようとしている。
絵文字の特長をとらえよう	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。	「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。 「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるように話の構成を考えている。	進んで集めた材料を比較したり分類したりして、学習の見通しをもって、グループで話し合おうとしている。 積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、身のまわりの絵文字について説明する文章を書こうとしている。 積極的に目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たし、学習の見通しをもってグループで話し合おうとしている。 進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、見通しをもって、気持ちを伝えるための話し方・聞き方について考えようとしている。 進んで、言葉には考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付こうとし、見通しをもって、気持ちを伝えるための話し方・聞き方について考えようとしている。

登場人物の気持ちをそうぞうしながら読もう	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。 文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	積極的に、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって物語のおもしろいところを紹介しようとしている。 積極的に文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、学習の見通しをもって、「おすすめ図書カード」で本を紹介しようとしている。 積極的に書き表し方を工夫し、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。 進んで、情景について具体的に想像し、学習の見通しをもって音読したりイメージを広げたりしようとしている。
調べて発表しよう	相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。 前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。	「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、学習の見通しをもって、資料を使って発表しようとしている。 進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係について理解し、学習の見通しをもって、文の組み立てを捉えようとしている。 進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。 積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵の中の言葉を使って文を書こうとしている。
図や写真と文章を、むすびつけて読もう	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。	進んで、文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって友達と感想を交流しようとしている。 積極的に、長い間使われてきた十二支や月の呼び名を知り、学習の見通しをもって、今の暮らしの中に残る昔からの言い方を見つけようとしている。
つたえたいことの中心を明らかにして書こう	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。 「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。	粘り強く間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして文や文章を整え、学習の見通しをもって、思い出に残っているできごとについて文章を書く。

登場人物の気持ちのうつりかわりを 読もう	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 相手を見て話したり聞いたりしているとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。 「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。	進んで文章を読んで理解したことに基づいて感想や考えをもち、学習の見通しをもって、登場人物に宛てて手紙を書こうとしている。 積極的に伝え合うために必要な事柄を選び、今までの学習を生かして、1年間の国語の学習を振り返ったり次年への希望を話し合ったりしようとしている。
漢字の広場	前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。	「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。 積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書こうとしている。 進んで、漢字がへんやつくりなどから構成されていることについて理解し、学習の見通しをもって、漢字を正しく読んだり書いたりしようとしている。
言葉	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使っている。 長い間使われてきたことわざや慣用語、故事成語などの意味を知り、使っている。 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書いている。 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。	積極的に辞書や事典の使い方を理解し、学習課題に沿って国語辞典を活用しようとしている。 積極的に、長い間使われてきた季節を表す言葉の意味を知り、学習課題に沿って季節の言葉を集めようとしている。 進んで、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で読んだり書いたりし、学習の見通しをもって、ローマ字に親しもうとしている。 進んで指示する語句の役割を理解し、学習課題に沿って、指示する語句を適切に使おうとしている。 積極的に、長い間使われてきたことわざや慣用語の意味を知り、学習の見通しをもってカードにまとめようとしている。 積極的に長い間使われてきた十二支や月の呼び名を知り、学習の見通しをもって、今の暮らしの中に残る昔からの言い方を見つけようとしている。